

3年ぶり表彰台を男子

全国都道府県駅伝壮行会

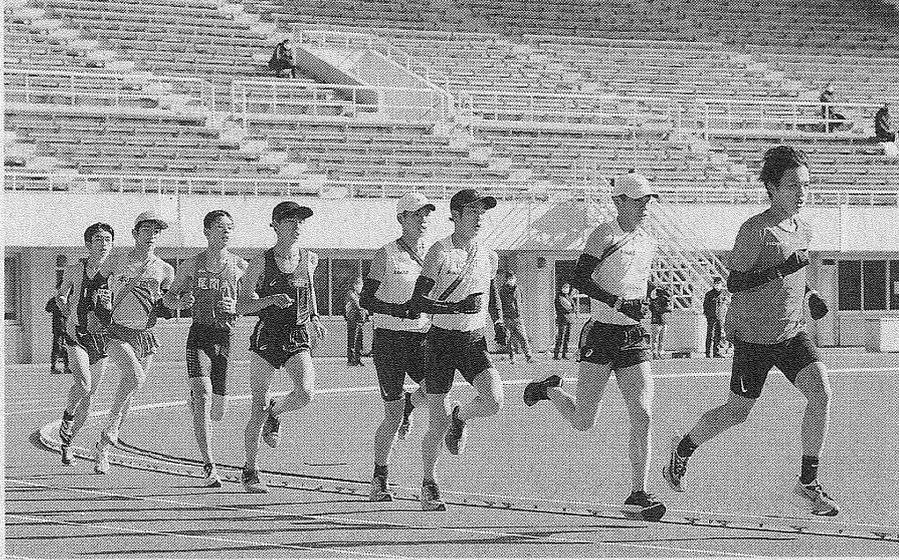
失敗恐れず昨年超え 女子

社会人、大学生からな学生を引つ張った。男子の先頭を走った森は「今年もあつていい刺激に」

28回（22日・広島7区間48キロ）、女子第41回（15日・京都9区間42・195キロ）全国都道府県対抗駅伝に出場する埼玉選手団の合同練習と壮行会が8日、上尾運動公園陸上競技場で行われ、選手、監督、スタッフらが参加した。

合同練習では、男子が8000メートル、女子が4000メートルのビルドアップ走を実施。元日の全日本実業団対抗駅伝で2連覇を達成したホンダの川瀬と森が、それぞれペースメーカーとして高校生、中

3年ぶりの表彰台を狙う男子選手、8年ぶりの入賞を目指す女子選手（渋谷雅也撮影）



また。その後の壮行会では、埼玉陸協の青葉昌幸名誉会長、浪江美穂県民生活部スポーツ振興課長ら来賓が激励の言葉を贈った。幸田（東農大）は「1区からの流れが大事になる。1桁台を狙って頑張りたい」と意気込んだ。過去2度の優勝を誇る男子の大沢監督（ホンダ）は「3位を狙える力はある。入賞ラインを確実に取りたい」と決意を語った。昨年16位だった女子の照沼監督（春日部女高）は「これから埼玉を背負って立つ子たちがそろった。失敗を恐れずに昨年の成績を超えたい」と力を込めた。

（渋谷雅也）

【昌平中学・高等学校から】

男子：昌平中学校 ジュニアB [中学] 渡部智義

女子：昌平高校 ジュニアA [高校] 成瀬結菜・後藤舞桜・仲西梨花